

放課後子ども教室だよ

福田 たのしい教室

令和6年9月10日(火) 訪問

アットホームな雰囲気の中で、子どもたちは安心して活動しています。

「福田たのしい教室」には、川俣小学校の1年生から6年生まで14名が登録しています。

子どもたちは、小学校の授業が終わるとスクールバスで福田公民館までやってきます。到着すると、子どもたちは、学習用の部屋で宿題に取り組みます。解き方がわからない時は、スタッフが教えてくれます。この日、宿題を終えた子どもたちは、別の部屋に移動して、松ぼっくりやどんぐりなど木の実を使った写真立てを作りました。スタッフに森の案内人の方がいるので、その方が木の実などの材料を用意してくれました。工作は月に1回実施して、季節に合った物を作っているそうです。子どもたちに、家や学校ではできないことをいっぱい体験してほしいというスタッフのあたたかい思いが感じられました。



【学習する子ども】

[児童の感想]

- 学校では作れない物が作れるのが楽しい。
- スタッフさんは、私が1年生の時から知っていて、作り方などをいろいろ教えてくれてやさしい。



【完成した作品】

けがをしないように、スタッフが道具の使用方法を注意深く見守っていました。



先に作った子ができた作品を見せるなど、子どもたちがお互いに教えながら作っていました。

異学年の子どもどうしが自然に遊んでいました。



【工作をする子ども】

[スタッフの思い]

- 大人の指示を少なくして、子どもが興味をもって活動するようにしています。
- 地域の子どものことがわかり、外で会った時などにあいさつできるのが嬉しいです。



【オセロで遊ぶ子ども】

「福田たのしい教室」では、スタッフが子どもたちの動きに目を配り、安全で楽しい活動ができるようにしていました。あたたかい雰囲気の中で、高学年の子が低学年の子へサポートするなど、やさしい心が育まれていることが伝わってきました。

